

中テレ・J A 共済カップ
第 40 回福島県 U-12 サッカー選手権大会要項
(兼 アルゼンチン代表キャンプ記念杯大会)

- 1.主 旨 この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成をめざすものである。
 - 2.主 催 一般財団法人福島県サッカー協会、株式会社福島中央テレビ
 - 3.共 催 読売新聞東京本社福島支局、福島民友新聞社
 - 4.特別協賛 J A ・ J A 共済連福島
 - 5.協 賛 モルテン
 - 6.主 管 一般財団法人福島県サッカー協会 4 種委員会、福島県県南サッカー協会
 - 7.後 援 郡山市
 - 8.日 程 2 0 2 1 年 6 月 5 日 (土)、6 日 (日)
 - 9.会 場 郡山西部サッカー場
- 1 0.参加資格 ①大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会 (以下「JFA」という) 第 4 種、及び日本スポーツ少年団に登録した団体 (チーム) であること。
登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
②前項のチームに所属する 2 0 0 9 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。
③県大会出場チームは WEB エントリーを行うこと。
- 1 1.参 加 料 2 0 2 1 年 5 月 3 1 日までに¥ 1 0、0 0 0 円を指定口座へ振り込みをすること。
東邦銀行 大槻支店 普通 3 7 9 9 1 9
一般財団法人 福島県サッカー協会 会長 菅野 貴夫
- 1 2.チーム構成 ・チームの編成は、引率指導者 1 0 名エントリーの中から 2 名以上 5 名以内選手 1 6 名以内とする。
・引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
・参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
・参加チームは傷害保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入していること。

1 3.審 判 審判は1人の主審と2人の副審と第4の審判が指名される。1位～8位決定戦の準決勝、3位決定戦、優勝決定戦と9・10・11・12位決定戦は本部対応にて行うが、他は全て帯同審判員で行う。

1 4.表 彰

- ① 優 勝:優勝カップ、アルゼンチン代表キャンプ記念杯、表彰状、メダルを授与する。
- ② 準優勝:準優勝カップ、表彰状、メダルを授与する。
- ③ 第3位:カップと表彰状、及びメダルを授与する。
- ④ 個人賞として最優秀選手(MVP)1名・優秀選手8名にトロフィーを授与する。

※ 上位2チーム(優勝、準優勝)を、2021年7月17日～18日岩手県 ASPA で開催する東北地区サッカースポーツ少年団交流大会に推薦する。

1 5. 組み合わせ 大会実行委員会で決定する。

1 6.大会形式 地区大会を勝ち抜いた16チームによって実施する。

内訳(県北:4、県南:4、会津:3、相双:2、いわき:3チーム。)

- ① 予選リーグ(16チームを4グループに分け)を行い、グループ上位2チームが1位～8位決定戦に進出する。グループ下位2チームは9位～16位決定戦を行う。
- ② 予選リーグの順位決定は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点合計の多い順に決定する。但し、勝点合計が同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

1 7. 競技者の数および交代

- ① 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ② 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ③ 試合開始前の1チームの競技者の最少人数は6人以上とし、試合中いずれかのチームが6人未満になった場合、試合は続けないものとし、当該チームを不戦敗とする。

1 8. 競技規則 JFA 制定「8人制サッカールールと審判方」の「8人制サッカールール」による。但し、以下の項目については大会規則を定める。

① 試合時間

試合時間は全て30分(15分ハーフ)としハーフタイムのインターバルは5分とする。

② 試合の勝者を決定する方法(規定の競技時間内に勝敗が決しない場合)

予選リーグにおいては引き分けとする。順位決定戦は、PK方式により次回戦への進出チームを決定する。但し優勝決定戦は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。尚、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。

- ③ベンチに入ることができる人数は、選手16名以内、指導2名以上5名以内とする。
- ④テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度1人の役員が伝える事が出来る。
- ⑤アディショナルタイムの表示については実施しない。
- ⑥暑熱下において前・後半の中程で飲水タイム、クーリングブレイクを採用する。
飲水タイム、クーリングブレイクの有無を前・後半開始前に両チームへ通告する。
- ⑦負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- ⑧本大会に参加する選手は、JFAの発行した選手証を持参しなければならない。但し写真登録により顔の認識ができるものであること。
不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
*選手証とは、JFAWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。
選手証等の提示は当該チーム試合日毎に求める。
- ⑨ピッチサイズは原則次の通りとする。：会場の都合により縦68m・横50m・ペナルティエリア：12m・ゴールエリア：4m・センターサークル：半径7m
・ペナルティマーク：8m・ペナルティアーク：半径7mの円弧
- ⑩ゴール：ゴールの内のり縦2.15m、横5m
- ⑪ユニフォームはWEBエントリーに記載した登録ユニフォームを着用すること。
ただし、ユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
またチームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
選手番号については1～99を使用し0は認めない。
- ⑫大会期間中、異なる試合において警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- ⑬退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。その他、マッチ以外で不具合な事象が起きた際に関しては、FA4種委員会で協議する。
- ⑭中断及び対応について：試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。
再開方法は中断から20分様子を見て、再開が難しい場合、前半終了前はスコアに関係なく再試合とする。前半終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。
- ⑮ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑯アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色を利用の場合はその色を認める。

19. 宿泊弁当手配 各チームで対応をお願いいたします。

20. 開会式 実施しない。

21. 閉会式 6月6日午後3時(予定)から行う。表彰対象チーム・選手のみ参加

22. 監督会議 監督会議を、6月5日(土)8時45分からメイン会場本部にて行う。
各チーム指導者1名参加すること。

23. マッチコーディネーションミーティング

各試合競技開始時刻の40分前に試合会場本部にて開催する。マッチコーディネーションミーティングにおいて**メンバー登録用紙3部**の回収を行う。但し、準決勝と決勝戦は**メンバー登録用紙を5部提出**をお願いいたします。出席者は担当審判員、運営責任者とする。その際審判員は審判証を提示する。

* 審判証とは、JFAWEB登録システム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。

24. 参加申込 ①参加チームは、WEBエントリーを行うこと。

②参加チームの集合写真をプログラムに記載いたしますので、参加チームは所属地区4種委員長宛てにeメールにてデータ送信すること。

※地区委員長への提出期日については各地区委員長へ確認ください。

※地区委員長は下記期日までにエントリー表及びプログラム掲載写真を、佐藤委員長宛てにメールすること。

(申込締切日)：2021年 5月17日(月)